

LPガスCP情報(2015年9月積み)

1. 9月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **315** ドル (前月比 -50 ドル)

ブタン **345** ドル (前月比 -55 ドル)

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が急落するなか、LPガススポット市況も需給緩和を受けて軟化した。大量の米国、アフリカのアーブ玉は減少傾向にあるが、中東各国のスポット供給(カタール、UAE、クウェート)も潤沢でアジア市場にタイト感は無。CP先物は第3週末はプロパン310 ドル 、ブタン340 ドル に軟化、極東CFR市況もアーブ玉の減少見込みからフレート市況の軟化を受け第3週でプロパン390 ドル 、ブタン420 ドル に下落した。成約の中心は9月CPプラス70 ドル 台で、フレート市況軟化により縮小傾向ではあるが、ネットバックではディスカウント市況が続いた。ナフサは原油市況に連れ大幅続落、第4週で370 ドル まで下げておりアジアの石化用ブタン需要も弱い。バンカーオイルは原油市況に追従して急落、26日には200 ドル を割り込み、8月月間平均も前月比約64 ドル の続落。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が増加し過去最高水準まで積み上がり、第4週の週明け24日は原油急落で軟化185 ドル どころに下げた。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は、第3週に需給緩和と原油市況の急落でプロパン280 ドル 、ブタンは260 ドル どころに軟化した。

9月CPは前年同月比プロパン430 ドル 、ブタン440 ドル のそれぞれ下落。なお、プロパンは2004年7月以来、ブタンは2008年12月以来の安値。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	101	103	91		98
CP先物指標：P	325	325	310		320
CP先物指標：B	350	360	340		350

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは8月45.17 ドル でスタートし、24日には38.24 ドル と2009年2月以来の安値となったが週末急反騰し45 ドル 台に戻した。米国超高水準原油在庫にリグ稼働数の増加、イラン増産意向、中国経済減速による需要減退懸念など世界的供給超過長期化の懸念が高まるなか、中国株急落を契機とした世界同時株安でリスク回避の動きが強まり原油市況は全面安となった。急落の反動で買い戻されたが、需給ファンダメンタルズは弱く原油市況底割れのリスクは払拭されていない。一方、28日のNYMEXのWTI総取組高は168万枚で前月末比3万枚の減少、売建玉が増加し大口投機玉の買越残高は25日に21.5万枚と前月比28千枚の大幅減少が続いている。

○8月積みアラビアンライト(8月1~28日)は47.6 ドル (前月比-8.6 ドル)

熱量等価AL100% プロパン390.27 ドル/トン ブタン384.92 ドル/トン

AL比 プロパン80.71% ブタン89.63%

***上記アラビアンライトはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

2. 2015年9月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	125.20	42,600	46,600	-4,500	-4,500
26~25日②	124.84	42,400	46,500	-4,800	-4,700
1~30日③	124.21	42,200	46,300	-5,000	-5,000

*TTS平均は①が7月21日~8月20日まで、②は7月26日~8月25日

③は8月1~31日、①、②、③ともに9月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。